



重要文化財「札幌農学校第 2 農場」の 屋内公開について（お知らせ）

一般公開の概要

重要文化財「札幌農学校第 2 農場」は、冬期間の屋内公開休止を終え、模範家畜房・穀物庫・牝牛舎内を一般公開します。なお、建物外観や前庭は通年公開しています。

屋内公開日程：2017 年 4 月 29 日（土・祝）～2017 年 11 月 3 日（金・祝）

10:00～16:00（毎月第 4 月曜日休館）

※屋外公開 8:30～17:00（通年）

所在地：札幌市北区北 18 条西 8 丁目（北海道大学札幌キャンパス内、エルムトンネルのほぼ直上）地下鉄南北線北 18 条駅より西方向に徒歩 6 分

札幌農学校第 2 農場は、クラーク博士の構想により、一戸の酪農家をイメージした北海道開拓の模範農場として発足しました。明治 10 年に建設された日本最古の洋式農業建築である模範家畜房（モデルバーン）と穀物庫（コーンバーン）を有し、日本農業近代化のモデルとして畑作・酪農技術向上に寄与した当施設は、国の重要文化財、北海道遺産などにも指定されています。

当公開施設内には、札幌農学校発足以来収集されてきた数多くの農機具が収蔵されています。明治初期に欧米から輸入された畜力用農業機械や初期の農用原動機とトラクタ、日本全国の^{くわ}鋤など、農業機械技術や北海道開発の過程を語るうえで貴重な資料となっています。

明治期の建築として高い評価を受けているだけでなく、景観的にも優れているその佇まいから、教職員、学生だけではなく、非常に多く観光客や市民の皆様が来場されています。北海道開拓時代、そして札幌農学校の歴史を感じることもできる札幌農学校第 2 農場へ、ぜひお越しください。

第 2 農場のホームページ（<https://www.museum.hokudai.ac.jp/outline/dai2noujou/>）。



お問い合わせ先

北海道大学理学・生命科学事務部事務課 博物館担当

TEL: 011-706-2658 FAX: 011-706-4029 E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp